

平成 18 年 3 月期 個別財務諸表の概要

平成 18 年 5 月 18 日

会社名

株式会社SJホールディングス

上場取引所

JASDAO

コード番号

2 3 1 5

本社所在都道府県

東京都

(URL http://www.sjholdings.co.jp)

代表者

役職名

代表取締役社長

氏名

李 堅

問い合わせ先責任者

役職名 取締役

氏名

我妻 雅仁

T E L (03) 5781 - 7311

決算取締役会開催日

平成 18 年 5 月 18 日

中間配当制度の有無 有

配当支払開始予定日 平成18年6月30日

定時株主総会開催日 平成 18 年 6 月 29 日

単元株制度採用の有無 無

1.18年3月期の業績(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

(1) 経営成績

(百万円未満は切捨表示)

	営業収益	営業利益	経常利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
18 年 3 月期	439 (92.6)	196 (75.7)	115 (85.6)
17 年 3 月期	5,928 (15.7)	807 (11.1)	801 (13.7)

	当期;	純利益	1株当加		洲利 盆			総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円	%	円	銭	円	銭	%	%	%
18 年 3 月期	81	(81.5)	164	78	161	06	1.3	1.1	26.3
17 年 3 月期	439	(6.7)	5,019	19	4,922	34	9.3	13.0	13.5

(注) 1.期中平均株式数

18年3月期492,231.48株 17年3月期87,516.73株

- 2.会計処理の方法の変更 無
- 3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率
- 4. 平成 17 年 5 月 20 日付で 1:5 の株式分割を実施しておりますが、当事業年度の期中平均株式数及び 1 株 当たり情報は、期首に株式分割が行われたものとして計算しております。

(2) 配当状況

		1 柞	朱当たり年	間配当	当金		配当金総額	配当金総額 株主資本 株主資本 配当性向 株主資本		
			中	間	期	末	(年 間)	四当注吗	配当率	
	円	銭	円	銭	円	銭	百万円	%	%	
18 年 3 月期	500	00			500	00	247	303.4	3.9	
17 年 3 月期	1,500	00			1,500	00	147	29.9	2.3	

(3) 財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18 年 3 月期	12,178	6,386	52.4	12,897 7	'3
17 年 3 月期	8,175	6,433	78.7	65,452 6	57

(注) 期末発行済株式数 18年3月期495,161.29株 17年3月期98,296.19株 期末自己株式数 18年3月期218.16株 17年3月期39.7株

2.19年3月期の業績予想(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

当社は持株会社であり、連結ベースでの経営管理を行っておりますので、単独の業績予想については 差し控えさせていただきます。

なお、連結業績予想に基づき、配当金につきましては、以下のとおりとさせていただく予定です。

		000000	
		1株あたり年間配当金	
	中間	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭
中間期通期		800 00	800 00

上記に記載した予想配当金につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成して おります。実際の配当金は、今後、様々な要因によって予想金額と異なる可能性があります。

1 【財務諸表等】

(1) 【財務諸表】

【貸借対照表】

			事業年度			事業年度	
区分	注記番号		年 3 月31日現在 エロ ⁾	E) 構成比		年 3 月31日現在 エロン	Ē) 構成比
	番号	金額(TD)	(%)	立贺(千円) 	(%)
(資産の部)							
流動資産							
1 現金及び預金			1,759,489			149,473	
2 売掛金	1		1,592,714				
3 営業未収入金	1					169,607	
4 仕掛品			32,846				
5 貯蔵品			392				
6 前払費用			62,989			5,681	
7 繰延税金資産			16,448				
8 未収入金	1		50,430			899	
9 未収還付法人税等						144,317	
10 その他	1		17,552			8,635	
11 貸倒引当金			1,592				
流動資産合計			3,531,271	43.2		478,616	3.9
固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物		20,581					
減価償却累計額		4,946	15,634				
(2) 工具器具備品		24,296			144		
減価償却累計額		16,375	7,920		48	96	
有形固定資産合計			23,554	0.3		96	0.0
2 無形固定資産							
(1) 商標権			341			291	
(2) ソフトウェア			37,998			6,054	
(3) 電話加入権			1,386				
無形固定資産合計			39,727	0.5		6,345	0.1

			前事業年度 年 3 月31日現在	<u> </u>		á事業年度 年 3 月31日現在	
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
3 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券			87,000				
(2) 関係会社株式			3,115,582			6,803,864	
(3) その他の関係会社 有価証券			538,309				
(4) 関係会社出資金			548,587			4,637,904	
(5) 長期前払費用			49,389				
(6) 繰延税金資産			69,168			40	
(7) 敷金保証金			70,536			177,573	
(8) 保険積立金			99,932			68,046	
投資その他の資産合計			4,578,504	56.0		11,687,429	96.0
固定資産合計			4,641,786	56.8		11,693,871	96.1
繰延資産							
1 新株発行費			2,191			5,619	
繰延資産合計			2,191	0.0		5,619	0.0
資産合計			8,175,249	100.0		12,178,106	100.0

		前事業年度 (平成17年 3 月31日現	在)	当事業年度 (平成18年 3 月31日現在	E)
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)					
流動負債					
1 買掛金	1	560,046			
2 短期借入金	1	770,000		3,100,000	
3 1年以内返済予定の長期 借入金				517,492	
4 未払金		38,932		7,413	
5 未払費用		6,913		6,172	
6 未払法人税等		147,169			
7 繰延税金負債				11,497	
8 未払消費税等		33,385			
9 前受金				3,360	
10 預り金		8,065		2,782	
11 その他		1,772		1,920	
流動負債合計		1,566,285	19.2	3,650,638	30.0
固定負債					
1 長期借入金				2,141,010	
2 長期未払金		3,989			
3 退職給付引当金		87,222			
4 役員退職慰労引当金		84,004			
固定負債合計		175,215	2.1	2,141,010	17.6
負債合計		1,741,501	21.3	5,791,648	47.6

			前事業年度 年 3 月31日現在	Ε)		á事業年度 年 3 月31日現在	Ξ)
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)		構成比 (%)
(資本の部)							
資本金	2		990,382	12.1		1,001,050	8.2
資本剰余金							
1 資本準備金		4,171,035			4,181,699		
資本剰余金合計			4,171,035	51.0		4,181,699	34.3
利益剰余金							
1 利益準備金		12,400			12,400		
2 当期未処分利益		1,280,009			1,213,673		
利益剰余金合計			1,292,409	15.8		1,226,073	10.1
自己株式	3		20,079	0.2		22,365	0.2
資本合計			6,433,748	78.7		6,386,458	52.4
負債資本合計			8,175,249	100.0		12,178,106	100.0

【損益計算書】

		前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)			(自平			
区分	注記 番号	金額(百分比 (%)		千円)	百分比 (%)	
売上高								
1 情報関連製品売上高	1	4,747,295						
2 情報関連商品売上高		1,181,053	5,928,348	100.0				
売上原価								
1 情報関連製品売上原価	1	3,459,154						
2 情報関連商品売上原価		996,663	4,455,817	75.2				
売上総利益			1,472,531	24.8				
販売費及び一般管理費	2		665,020	11.2				
営業利益			807,510	13.6				
営業収益	1					439,278	100.0	
営業費用	2					242,753	55.3	
営業利益						196,525	44.7	
営業外収益								
1 受取利息		322			1			
2 有価証券利息		1,431						
3 受取配当金	1	49,181						
4 為替差益		4,104			6,775			
5 その他		383	55,423	0.9	527	7,304	1.7	
営業外費用								
1 支払利息	1	12,532			32,782			
2 新株発行費償却		4,455			4,309			
3 支払手数料		14,356			828			
4 上場関連費用		29,525			50,312			
5 その他		68	60,937	1.0	34	88,267	20.1	
経常利益			801,996	13.5		115,562	26.3	
特別損失								
1 固定資産除却損	3	778						
2 投資事業組合投資損失		71,770	72,548	1.2				
税引前当期純利益			729,447	12.3		115,562	26.3	
法人税、住民税 及び事業税		293,076			7,196			
法人税等調整額		2,891	290,184	4.9	27,256	34,453	7.8	
当期純利益			439,263	7.4		81,108	18.5	
前期繰越利益			840,745			1,132,564		
当期未処分利益			1,280,009			1,213,673		

情報関連製品売上原価明細書

		前事業年度 (自 平成16年4月 至 平成17年3月	31日)	当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)		
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
材料費		111,281	3.3			
労務費		702,429	20.6			
経費	1	2,596,411	76.1			
当期総製造費用		3,410,121	100.0			
期首仕掛品たな卸高		81,879				
合計		3,492,001				
期末仕掛品たな卸高		32,846				
情報関連製品売上原価		3,459,154				
]	

原価計算の方法 原価計算の方法は個別原価 計算によっております。

1 主な内訳は、次のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)		当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
外注費	·	2,368,409	
旅費交通費		32,182	
地代家賃		59,800	
リース料		69,557	
減価償却費	_	37,737	

情報関連商品売上原価明細書

		前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)
期首商品たな卸高			
当期商品仕入高		996,663	
計		996,663	
期末商品たな卸高			
情報関連商品売上原価		996,663	

【利益処分案】

		前事第 (平成17年	≰年度 6月27日)		≰年度 6月29日)				
区分	注記 番号	金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)
当期未処分利益			1,280,009		1,213,673				
利益処分額									
1 配当金		147,444	147,444	247,580	247,580				
次期繰越利益			1,132,564		966,093				

⁽注) 日付は株主総会承認日及びその予定日であります。

重要な会計方針

	前事業年度	当事業年度
項目	(自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
1 有価証券の評価基準及び 評価方法	子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法 その他有価証券 時価のないもの 移動平均法による原価法 なお、投資事業有限責任組合等 への出資(証券取引法第2条第2 項により有価証券とみなされるもの)については、組合契約に規定 される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持 分相当額を純額で取り組む方法によっております。	子会社株式及び関連会社株式 同左 その他有価証券 時価のないもの
2 たな卸資産の評価基準及 び評価方法	仕掛品 個別法による原価法 貯蔵品 最終仕入原価法	仕掛品 貯蔵品
3 固定資産の減価償却の方法	取念 (1) 有形 (1) 有形 (2) 有形 (2) 有形 (2) 有 (3) 長期 (3) 表 (3) 表 (4) 表 (4) 表 (4) 表 (5) 表 (4) 表 (5) 表 (6) 表 (7) 表 (7	(1) 有形固定資産 定率法 ただし、少額の減価償却資産(取 得価額が10万円以上20万円未満の 減価償却資産)については、事業 年度毎に一括して3年間で均等償 却しております。 なお、主な耐用年数は以下の通り です。 工具器具備品 3年 (2) 無形固定資産 定額法 なお、自社利用のソフトウェアに ついては、社内における見込利用 可能期間(5年)に基づく定額法に よっております。
4 繰延資産の処理方法	新株発行費 商法施行規則の規定に基づき3年間 で均等償却しております。	新株発行費 同左
5 外貨建資産及び負債の本 邦通貨への換算基準	外貨建金銭債権債務は、決算日の直 物為替相場により円貨に換算し、換算 差額は損益として処理しております。	同左
6 引当金の計上基準	(1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備える ため、回収不能見込額を計上して おります。 一般債権については、貸倒実績率 により、貸倒懸念債権等特定の債 権については個別に回収可能性を 検討し、回収不能見込額を計上し	(1) 貸倒引当金

	(2)	ております。 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、 当期末における自己都合要支給額 の見込額に基づき、当期末に発生 していると認められる額を計上し	(2) 退職給付引当金
	(3)	ております。 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支払に充てる ため、内規に基づく期末要支給額 を計上しております。 なお、平成16年6月に役員報酬 制度を改定しており、平成16年7 月以降対応分については引当計上 を行っておりません。	(3) 役員退職慰労引当金
7 リース取引の処	ると ス・ 貸借	リース物件の所有権が借主に移転す 記められるもの以外のファイナン リース取引については、通常の賃 す取引に係る方法に準じた会計処理 っております。	
8 その他財務諸 めの基本となる 項		間税等の会計処理 税抜方式によっております。	消費税等の会計処理 同左

会計処理の変更

前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
	固定資産の減損に係る会計基準
	当事業年度から「固定資産の減損に係る会計基準」
	(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見
	書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固
	定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基
	準委員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第
	6号)を適用しております。
	これによる損益に与える影響はありません。

表示方法の変更

前事業年度	当事業年度
(自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	(自 平成17年 4 月 1 日 至 平成18年 3 月31日)
(貸借対照表)	
「証券取引法等の一部を改正する法律」(平成16年法	
律第97号)により、証券取引法第2条第2項において、	
投資事業有限責任組合及びこれに類する組合への出資を	
有価証券とみなすこととされたことに伴い、前事業年度	
まで「出資金」に含めていたみなし有価証券を当事業年	
度より「その他の関係会社有価証券」に計上しておりま	
す 。	
この変更により、「その他の関係会社有価証券」は、	
538,309千円増加し、「出資金」は同額減少しておりま	
す。	
(損益計算書)	
前事業年度まで営業外費用の「その他」に含めて表示	
しておりました「支払手数料」は、営業外費用の総額の	
100分の10を超えたため区分掲記しました。	
なお、前事業年度における「支払手数料」の金額は、	
3,985千円であります。	

追加情報

前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
「地方税法等の一部を改正する法律」(平成15年法律第9号)が平成15年3月31日に公布され、平成16年4月1日以後に開始する事業年度より外形標準課税制度が導入されたことに伴い、当事業年度から「法人事業税における外形標準課税部分の損益計算書上の表示についての実務上の取扱い」(平成16年2月13日 企業会計基準委員会 実務対応報告第12号)に従い法人事業税の付加価値割及び資本割については、販売費及び一般管理費に計上しております。この結果、販売費及び一般管理費が18,566千円増加し、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益が、18,566千円減少しております。	
	(持株会社への移行による業態変更に伴う計上区分の変更) 当社は平成17年4月1日に分社型新設分割の方法により設立した「株式会社サン・ジャパン」にすべての営業を承継し、持株会社となりました。これにより、計上区分を下記のとおりに変更しております。 平成17年4月1日以降に発生した子会社に対する経営指導料等を営業収益に計上しております。 また、一般管理費を営業費用に計上しております。

注記事項

(貸借対照表関係)

	前事業年				(==	当事業年		
(平成17年3月31日現在)			,	成18年3月	31日現在)			
1	関係会社項目			1	関係会社項目	1		
	関係会社に対する資産及	び負債には	区分掲記され		関係会社に対	する資産	及び負債には	は区分掲記され
	たもののほか次のものが	あります。			たもののほか	か次のものが	があります。	
	流動資產 売掛金		34,248千円		流動資産	営業未収	入金	169,607千円
	未収入金		50,430		流動負債	短期借入	金	1,700,000
	その他(立権	彗金)	16,697					
	流動負債 買掛金		183,582					
2	授権株式数及び発行済株	式総数		2	授権株式数及	ひ発行済材	朱式総数	
	授権株式数	普通株式	282,000株		授権株式数	女	普通株式	1,410,000株
	発行済株式総数	普通株式	98,335.89株		発行済株式	忧総数	普通株式	495,379.45株
3	自己株式の保有数			3	自己株式の係	呆有数		
	普通株式		39.7株		普通株式			218.16株
4	当社は、運転資金の効率	的な調達を	行うため取引	4				
	銀行4行と貸出コミット	メント契約]を締結してお					
	ります。これら契約に基	づく当事業	年度末の借入					
未実行残高は次のとおりであります。								
	貸出コミットメントの)総額 1	,500,000 千円					
	借入実行残高		600,000					
	差引額		900,000					

(損益計算書関係)

前事業年度				当事業年度		
(自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)			(自			
	17-70 11 1 2 7 3 2 1 2 7	- 1 1: 10 4 1 1		至	17-20-01-0730-147	- 1 1: 10 4 1 1
1 関係会社と	の取引に係るものが次の	かとおり含まれ	1	関係会社との	取引に係るものが次の	りとおり含まれ
ております。				ております。		
関係会社	への売上高	60,691千円		関係会社か	らの営業収益	439,278千円
関係会社7	からの仕入高	677,984		関係会社へ	の営業費用	12,378
関係会社7	からの受取配当金	48,919		関係会社へ	の支払利息	10,858
2 販売費に属	する費用のおおよその	割合は0.4%、	2	主要な費目及	び金額は次のとおりて	ごあります。
一般管理費	に属する費用のおお	よその割合は		役員報酬		83,160千円
99.6%であり	ります。			給与手当		39,106
主要な費目が	及び金額は次のとおり ⁻	であります。		業務委託費		12,378
役員報酬		122,407千円		旅費交通費		21,204
給与手当		198,627		支払手数料		40,996
退職給付	費用	24,491				
役員退職縣	慰労引当金繰入額	2,842				
減価償却	豊	12,484				
支払手数料	料	108,411				
3 固定資産除去	却損の内容は次のとおり	りであります。	3			
工具器具位	着 品	728千円				
撤去費用		50				

(リース取引関係)

前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの | 該当事項はありません。 以外のファイナンス・リース取引

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相 当額及び期末残高相当額

	取得価額 相当額 (千円)	減価償却 累計額 相当額 (千円)	期末残高 相当額 (千円)
工具器具 備品	160,538	81,193	79,344
ソフトウ ェア	338,150	58,447	279,702
合計	498,688	139,641	359,047

(2) 未経過リース料期末残高相当額

1年内 96,684 千円 1年超 267,209 合計 363,893

(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相 当額

> 84,285 千円 支払リース料 減価償却費相当額 78,589 支払利息相当額 7,733

(4) 減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする 定額法によっております。

(5) 利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額との 差額を利息相当額とし、各期への配分方法につい ては、利息法によっております。

(有価証券関係)

前事業年度(平成17年3月31日)及び当事業年度(平成18年3月31日)における子会社株式及び関連 会社株式で時価のあるものはありません。

(税効果会計関係)

前事業年度		当事業年度		
(平成17年3月31日現在)		(平成18年3月31日現在)		
1 繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳		1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別		
(1) 流動資産		の内訳		
繰延税金資産		(1) 流動資産		
未払事業税否認	14,394千円	繰延税金資産		
外国税額の繰越控除限度超過額	4,343	外国税額の繰越控除限度超過額	13,049千円	
その他	2,054	小計	13,049	
繰延税金資産計	20,792	評価性引当額	13,049	
評価性引当額	4,343	繰延税金資産計	-	
繰延税金資産の純額	16,448	(2) 固定資産		
(2) 固定資産		(2) 回足負煙 繰延税金資産		
(2) 回足員座 繰延税金資産		深些枕並負圧 その他	40千円	
退職給付引当金				
損金算入限度超過額	34,978千円	繰延税金資産計	40	
役員退職慰労引当金	34,189	(3) 流動負債		
損金不算入額		繰延税金負債		
操延税金資産計 	69,168	未収事業税否認	11,497千円	
		繰延税金負債計	11,497	
2 法定実効税率と税効果会計適用後の法	人税等の負担	2 法定実効税率と税効果会計適用後の法	人税等の負担	
率との差異原因		率との差異原因		
法定実効税率	40.7%	法定実効税率	40.7%	
(調整)		(調整)		
交際費等	1.0	交際費等	2.4	
永久に損金に算入されない項目 住民税均等割等	0.5	永久に損金に算入されない項目 住民税均等割等	1.0	
外国税額控除	2.3	外国税額控除	13.8	
その他	0.1	その他	0.5	
税効果会計適用後の法人税等の負担	上率39.8	税効果会計適用後の法人税等の負担	率29.8	

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
1株当たり純資産額	65,452円67銭	12,897円73銭	
1 株当たり当期純利益金額	5,019円19銭	164円78銭	
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	4,922円34銭	161円06銭	
		当社は、平成17年3月3日開催の 取締役会において、平成17年5月20	
		日付けで、株式1株につき5株の分割を行っております。	
		割を行っております。 なお、当該株式分割が前事業年度	
		期首に行われたと仮定した場合の1	
		株当たり情報については、以下のと	
		おりとなります。	
		前事業年度	
		1 株当たり純資産 額	
		1 株当たり当期純 利益金額 1,003円84銭	
		潜在株式調整後 1	
		株当たり当期純利 984円47銭 益金額	

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

りであります。		
	前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	439,263	81,108
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る当期純利益(千円)	439,263	81,108
普通株式の期中平均株式数(株)	87,516.73	492,231.48
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株) (うち新株引受権(株)) (うち新株予約権(株))	1,722.09 () (1,722.09)	11,369.05 () (11,369.05)
希薄化効果を有していないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の査定に含めなかった 潜在株式の概要	平成16年 6 月29日定時株 主総会決議ストックオプ ション 潜在株式の 数 3,444株 潜在株式の 種類	

	7月31日
払込金額	400,000円
発行価額	400,000円
資本組込額	200,000円

(重要な後発事象)

前事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日) 当事業年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

- 1 平成17年4月1日に分社型新設分割の方法により 設立した「株式会社サン・ジャパン」に全ての営 業を承継させました。当社は持株会社となり、商 号を「株式会社SJホールディングス」に変更いた しました。
 - (1)本件分割の目的

株式会社ティー・シー・シー及び株式会社アイビートとの経営統合効果を早期に発揮させるため、グループ全体のガバナンスは持株会社が担い、持株会社の下、各会社は特色を打ち出しつ つ各会社間のシナジーを最大限に発揮させ、品質・価格・納期における競争力の飛躍的向上と積極的な海外展開を戦略的に推進していくことで、競合を凌駕する新たなビジネスモデルを構築することを目的としております。

(2)新設会社の概要

商号	株式会社サン・ジャパン
事業内容	システム開発事業を中心とし
	た「情報サービス業」
設立年月日	平成17年4月1日
本店所在地	東京都中央区新川一丁目26番
	2号
代表者	代表取締役社長 李 堅
資本金	100百万円
発行済株式数	普通株式 2,000株
決算期	3月31日

(3)新設会社の引継いだ資産及び負債の概要

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	2,460	流動負債	1,373
固定資産	926	固定負債	175
		負債合計	1,548
資産合計	3,386	差引正味財産	1,837

2. 役員の異動

(1)代表者の異動

該当事項はありません。

(2)取締役の異動(平成18年6月29日付予定)

新任取締役候補

取締役 平田 昇(現・株式会社SJアルピーヌ 顧問)

取締役 手塚 弘章(現・アルファテック・ソリューションズ株式会社 代表取締役兼執行役員社長)

退任予定取締役(平成18年6月29日付予定)

取締役我妻雅仁取締役野本忍

(3)監査役の異動

該当事項はありません。